

- 問1 中江兆民が紹介したルソーの思想などは、当時の自由民権運動を支える理論となりました。この運動の目的や当時の状況を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 足尾銅山の鉱毒被害を解決するため、天皇への直訴や環境保護を訴える運動を行った。

2. 特定の藩の出身者たちが政治の実権を握る「藩閥政治」を批判し、国会の開設を政府に求めた。

3. 武士の特権を奪う四民平等の政策に反対し、士族による武力反乱を全国で引き起こした。

4. 大正時代に、内閣が議会を無視して政治を行うことに反対する「第一次護憲運動」を展開した。
- 問2 岩倉使節団が欧米へ派遣された主な目的について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 廃藩置県の実施に対する欧米諸国の承認獲得と、海外への移民計画の立案

2. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉と、西欧の進んだ制度や産業の視察

3. 自由民権運動を抑えるための憲法草案の作成依頼と、キリスト教の国教化

4. 欧米列強との軍事同盟の締結と、最新の軍事技術の導入に向けた契約
- 問3 明治政府が租税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した目的として、最も適切な背景を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 貨幣経済の浸透を防ぎ、江戸時代のような物価の安定を図るため。

2. 農村における地主の権限を弱め、すべての農民を自作農にするため。

3. 豊作や凶作、あるいは米価の変動に影響されず、政府の収入を安定させるため。

4. 米の生産量を全国一律に管理し、食糧不足を解消するため。
- 問4 幕末から明治初年にかけての動乱に関連して、ヨーロッパの築城術を参考にした星形の城郭（西洋式城郭）が築かれ、戊辰戦争の最終段階において旧幕府軍の拠点となった場所はどこか、次の中から選びなさい。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 安土城

2. 江戸城

3. 五稜郭

4. 大阪城
- 問5 明治時代の歴史をまとめた年表において、1873年（明治6年）から始まった地租改正は、政府の財政を支える重要な政策として位置づけられています。この改革で、政府が納税方法を「現金」に変更した最大の目的として適切なものはどれですか。 (2019年 鳥取県公立入試 類似)
1. 天候や豊凶に左右されることなく、政府が安定した財源を確保するため

2. 江戸時代から続く重い税負担を軽減し、農民の生活を安定させるため

3. 農村での貨幣経済の拡大を抑制し、米の市場価格を下落させるため

4. すべての土地を国有化し、将来的に税金そのものを廃止するため
- 問6 明治政府は近代国家をつくるために様々な改革を行いました。その一環として、1872年に全国統一の戸籍を編纂して国民の情報を把握し、その翌年に発令された、満20歳になった男子に兵役を義務づけた法令を何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 徴兵令

2. 武家諸法度

3. 治安維持法

4. 国家総動員法
- 問7 明治政府が廃藩置県などの改革を通じて、地方の権限を中央政府へ集中させた目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 住民が選挙によって知事を選べるようにし、地方自治の仕組みを早期に確立すること

2. 各地の旧藩主に引き続き地方統治を任せることで、新政府への反発を抑えること

3. 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること

4. 地方ごとに独自の法律や通貨を認め、各地域の特色を活かした経済発展を促すこと
- 問8 明治政府が1873年から開始した租税制度の改革である「地租改正」の内容について、正しい説明はどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 収穫量を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。

2. 収穫量を基準として、収穫した米を納税させる仕組みとした。

3. 地価を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。

4. 地価を基準として、耕作者に収穫した米を納税させる仕組みとした。
- 問9 1874年、板垣退助らが政府に対して提出した、特定の藩の出身者による独裁的な「藩閥政治」を批判し、国民が選んだ議員によって政治を行う議会の開設を強く求めた文書の名称を選んでください。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 民撰議院設立の建白書

2. 教育勅語

3. 徴兵令

4. 五箇条の御誓文
- 問10 江戸時代の「検地帳」と明治時代の「地券」という2つの資料を比較したとき、地租改正によって新しく導入された考え方として説明できるものはどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 土地の広さに関わらず、栽培する作物の種類によって税率を決定した

2. 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた

3. 実際に土地を耕している小作人を保護し、収穫物の大半を小作人のものとした

4. 土地の売買を厳しく制限し、先祖代々の土地を失わないようにした
- 問11 明治政府が「殖産興業」政策の一環として、1872年に群馬県に設置した官営模範工場の名称を次の中から選びなさい。なお、この工場は最新の西洋技術を導入し、日本の主要な輸出品であった製品の品質向上を目指して作られたものです。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 足尾銅山

2. 八幡製鉄所

3. 富岡製糸場

4. 長崎造船所
- 問12 明治新政府が発表した基本方針の第一条には「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節があります。この内容が目指した方向性として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 江戸幕府の仕組みをそのまま引き継ぎ、将軍が引き続き政治を行うこと

2. 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと

3. 外国との交渉を一切断ち切り、攘夷を徹底して実行すること

4. 一部の有力な藩だけで権力を独占し、政治を秘密裏に進めること
- 問13 19世紀後半、徳川慶喜が政権を返上した後の政治状況を説明した記録において、倒幕派が「王政復古の大号令」を強行した背景にある目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. 藩閥政治を批判する自由民権運動を抑え込み、天皇に絶対的な権限を持たせる憲法を制定するため

2. 全国の武士が持つ特権を奪い、四民平等の社会を実現して国民皆兵の基盤を作るため

3. 欧米列強との不平等条約を改正するため、近代的な法典を整備していることを諸外国に示すため

4. 徳川氏の影響力を完全に排除し、旧幕府勢力が参加できない形で天皇中心の新政府を樹立するため
- 問14 明治時代初期、政府が欧米の制度や技術を積極的に導入したことで、人々の生活様式が急激に西洋化した社会現象を何と呼びますか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 化政文化

2. 国風文化

3. 文明開化

4. 元禄文化

答え合わせ・解説

問1	答え 2 特定の藩の出身者たちが政治の実権を握る「藩閥政治」を批判し、国会の開設を政府に求めた。	ルソーの思想は「主権は国民にある」という考え方を含んでいたため、薩摩・長州藩などの一部の人間が権力を独占する藩閥政治を打破する根拠となりました。これにより、国民が選んだ議員で構成される国会の開設を求める運動が全国的に激化しました。
問2	答え 2 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉と、西欧の進んだ制度や産業の視察	使節団の大きな目的の一つは、幕末に江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けて予備交渉を行うことでした。しかし、当時の日本は法制度が整っていなかったため、各国から改正を拒否されることとなりました。そのため、もう一つの目的である「西欧の政治、産業、文化の視察」に重きを置くようになり、帰国後の日本における学制の公布や憲法の制定など、近代国家としての基盤づくりにその経験が活かされました。
問3	答え 3 豊作や凶作、あるいは米価の変動に影響されず、政府の収入を安定させるため。	米による物納では、天候による収穫量の増減や市場での米価の変動によって、政府が得られる税収が毎年不安定でした。近代国家として計画的な予算を立てるためには、安定した現金収入が必要であったため、収穫量に関わらず土地の価値に応じた一定額の現金を徴収する制度が導入されました。
問4	答え 3 五稜郭	北海道の函館に築かれた五稜郭は、大砲による攻撃を防ぎやすくするために死角をなくした西洋式の星形城郭です。1868年から始まった戊辰戦争の最終局面において、榎本武揚ら率いる旧幕府軍がここに立てこもり、新政府軍と最後の戦い（箱館戦争）を繰り広げました。1869年の開城をもって、一連の戊辰戦争は終結しました。
問5	答え 1 天候や豊凶に左右されることなく、政府が安定した財源を確保するため	明治政府が富国強兵や殖産興業といった近代化政策を推進するためには、計画的な予算の編成が不可欠でした。米による納税では、凶作の年に政府の収入が激減してしまい、国家運営に支障をきたす恐れがありました。納税を地価に基づいた現金（金納）に改めることで、農作物の収穫量や価格の変動に関わらず、政府は毎年決まった額の収入を得られるようになり、安定した財政運営が可能となりました。
問6	答え 1 徴兵令	明治政府は「富国強兵」のスローガンのもと、近代的な軍隊を創設しようとしていました。そのためには、誰がどこに住んでいるかを正確に把握する必要があったため、1872年に日本初の近代的な戸籍（壬申戸籍）を作りました。この情報をもとに、1873年、身分に関わらず一定の年齢に達した男子に軍務を課す法令が定められました。
問7	答え 3 欧米列強に対抗できる国力を養うため、軍事や徴税の仕組みを全国で一元化すること	当時の日本は、欧米列強に対抗できる強い国を作る必要がありました。そのためには、各藩がバラバラに持っていた権力を取り上げ、政府が全国の資源や兵力を直接動かせる体制を築くことが不可欠でした。この体制により、徴兵制や地租改正といった全国共通の制度が実施可能となりました。
問8	答え 3 地価を基準として、土地の所有者に現金を納税させる仕組みとした。	江戸時代の年貢は「収穫量」を基準に「米（現物）」で納めていましたが、天候による収穫量の増減で政府の収入が不安定になる欠点がありました。明治政府は財政を安定させるため、土地の価値である「地価」を基準にし、さらに豊作・凶作に左右されない「現金」で納めさせる仕組みへと改めました。
問9	答え 1 民撰議院設立の建白書	明治初期、征韓論に敗れて下野した板垣退助や後藤象二郎らがこの文書を左院に提出したことで、自由民権運動が始まりました。彼らは少数の藩出身者が権力を握る現状を批判し、立憲政治の実現を訴えました。選択肢にある徴兵令や教育勅語は、それぞれ軍制や教育の根幹を定めたものであり、議会開設を求めたこの文書とは性質が異なります。
問10	答え 2 土地を個人の財産として認め、その正当な所有者に納税の義務を負わせた	江戸時代の検地帳には実際に耕作を行う者の名前が記されていましたが、地租改正で発行された地券には、土地の価値である「地価」とともに、その土地の「所有者」が明記されました。これにより土地の私有権が法的に認められ、土地の売買も自由になりましたが、同時に地主が納税の責任を負う仕組みとなりました。
問11	答え 3 富岡製糸場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力をつけるために産業を育成する「殖産興業」を推進しました。当時、生糸は日本の輸出額の多くを占める重要な品目でしたが、品質のばらつきが課題でした。そこで、フランスの技術を取り入れた模範的な工場を国営で設立し、全国にその技術を普及させることを目的としました。
問12	答え 2 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと	「公論（世論）」に基づき政治を行うことを宣言することで、倒幕に協力した諸藩の不満を抑え、国民の力を結集させて近代的な国家をつくらうとする意図がありました。この考え方は、のちの自由民権運動において「国会を開設せよ」という主張の根拠としても引用されることになります。
問13	答え 4 徳川氏の影響力を完全に排除し、旧幕府勢力が参加できない形で天皇中心の新政府を樹立するため	大政奉還後、徳川慶喜は依然として強力な勢力を維持しており、新政府においても諸侯会議の議長のような立場で実権を握ろうとしていました。岩倉具視や西郷隆盛ら倒幕派は、武力行使も辞さない構えでこの宣言を出し、幕府の廃止と慶喜の辞官納地（官職を辞し、領地を返上すること）を決定しました。これは、旧幕府側の政治参加を拒み、完全に新しい権力構造を作るためのクーデター的な側面を持っていました。
問14	答え 3 文明開化	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」を掲げ、西洋の進んだ文化を積極的に取り入れました。これにより、従来の武士の髪型を改める「ザンギリ頭」や、牛鍋を食べる習慣、太陽暦の採用など、人々の暮らしが大きく変化しました。元禄文化や化政文化は江戸時代の町人を中心とした文化であり、混同しないよう注意が必要です。